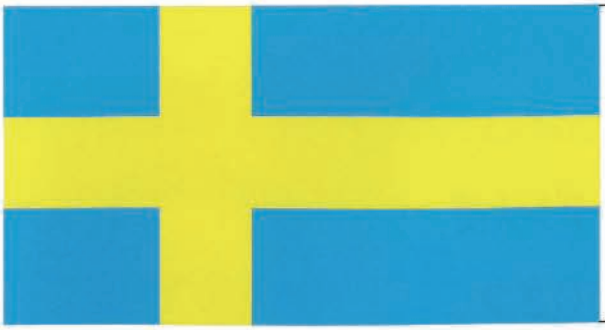
2022年1月1日



第 153 号

Björk

ービョルク（白樺）ー

スウェーデン・ストックホルム中心部ガムラスタンの広場Stortorgetで開かれているクリスマスマーケットJulmarknadの様子。2021年末に確認された新型コロナウイルスの新しい変異株は、世界各地で感染の報告がされていますが、スウェーデンでもワクチン接種の必要性が説かれ、特定の施設でのマスク着用や介護施設への訪問禁止、公共イベントの人数制限、飲食店やバーでの人数制限と時短営業が導入されました。

（写真提供：Åsa Narde）

ペールエリック・ヘーグベリ駐日スウェーデン大使　年頭ごあいさつ …… 2

寄稿「ぜひとも聴いて欲しい！今が旬のスウェーデンクラシック音楽」（前編） …… 北欧音楽研究家　朝倉　崇　8

広報誌「ビョルク」これまでのあゆみ …… 12

連載寄稿「スウェーデンの現在」⑰ …… ソフィア・マルム　14

一般財団法人スウェーデン交流センター（理事長　内野 貢）

〒061-3777　北海道石狩郡当別町スウェーデンヒルズ２３２９－２５

TEL　０１３３-２６-２３６０　　FAX　０１３３-２６-２９９２

http://www.swedishcenter.or.jp/　　e-mail：info@swedishcenter.or.jp

ペールエリック・ヘーグベリ　駐日スウェーデン大使
年頭ごあいさつ

The new year message from
Mr. Pereric Högberg, Ambassador

Dear friends in Hokkaido and Japan!

The kizuna between our nations is strong and in no small part founded on the passion of individuals. The interest Japanese people show in Swedish culture is equaled only by the Swedish interest in Japanese culture. In Japan there are many successful Swedes in the fields of literature, film, design, fashion, and gaming. Some are even active in typical Japanese art forms such as sword forging, manga, traditional landscaping, tea, or rakugo.

After almost two years of pandemic, many companies and organizations have come to embrace the digital transformation of society – and the Embassy of Sweden is no exception. In December 2020 we launched Sweden Digital Village, a new digital platform designed to be the ultimate virtual space for exploring what Sweden has to offer in Japan. At Sweden Digital Village, you can find food and travel inspiration, discover Swedish music and literature, learn about Swedish companies and innovation, as well as view online events, from seasonal celebrations to academic or business-oriented webinars.

One of the highlights of 2021 was of course the Tokyo Olympic Paralympic, where I had the honor to see several sports events in real life together with the Swedish Olympic Committee. Congratulations to Japan for a well-organized Olympics despite the difficulties caused by the pandemic – and for winning a lot of medals!

I also made my first official trip to Hokkaido, where I met with both the Vice Governor of Hokkaido, Mr. Uramoto and the Mayor of Sapporo, Mr. Akimoto. In Hokkaido I also had the opportunity to study the local dairy industry – an area where Sweden and Japan share similar challenges – and the new high-tech solutions that will change that business entirely.

Now when both Japan and Sweden have started to open their societies, I’ m really looking forward to increased exchange between our countries. I’ m already enjoying being able to meet different Japanese people again, and to get their perspectives on life, politics, and culture. In 2022 – hopefully – the embassy will enter a much more active phase with a lot of cultural and promotional events in the pipeline. So, stay tuned, and please don’ t hesitate to contact the embassy if you see any opportunity to strengthen the kizuna between us. I am certain that our exchange will bring more economic, scientific, and cultural prosperity to both our nations. I wish everyone a peaceful, safe, and happy 2022!

Pereric Högberg

親愛なる日本、そして北海道の皆さまへ

日本とスウェーデン、両国の結ぶ「絆」は非常に強く、それは両国民一人一人がこれまで培ってきたお互いの国への情熱や想いが礎となっています。スウェーデンの文化に対して日本の人々が非常に高い関心を寄せてくださっているのと同様に、スウェーデンの人々も日本の文化に対して高い関心を寄せており、今日の日本では文学、映像、デザイン、ファッションのみならず、ゲームの分野に至るまで、多くのスウェーデン人が成功を収めています。とりわけ日本の伝統文化である、日本刀の拵（「こしらえ」。日本刀の外装を指し、「つくり」とも言います）や、漫画、造園（庭師）、日本茶、落語と言った分野で活躍しているスウェーデン人をご存知の方もいらっしゃるのではないかと思います。

２年余りにわたる新型コロナウイルスのパンデミックにより、多くの企業や団体でデジタルトランスフォーメーションを取り入れるようになりました。我々スウェーデン大使館も例外ではなく、2020 年の 12 月に、日本国内で好きな時にスウェーデンについて知りたい情報やサービスなどを探すことができ、日本とスウェーデンをつなげるバーチャルスペース“Sweden Digital Village（スウェーデンデジ村）”を始めました。ここではスウェーデンの食べ物や観光地を探すことや、音楽や文学など文化に関する情報、スウェーデンの企業やイノベーションについて学ぶことができるだけでなく、ウェビナー（インターネットを介したセミナー）を通して、スウェーデンの季節の行事から企業のイベントや学術会議などを見ることもできるのです。

2021 年、最も世界で脚光を浴びたイベントと言えば、もちろん東京オリンピックがその中の一つに挙げられることでしょう。この素晴らしいスポーツの祭典に、スウェーデン・オリンピック委員会と共に参加し、競技を見ることができたということは非常に光栄なことです。新型コロナウイルスパンデミックという困難な状況のもと、オリンピックを運営し、無事大成功に導いた日本の皆さんの努力に心から敬意と賛辞を送りたいと思います。もちろん、数多くのメダルを獲得した選手団の皆さんにも。

2021 年の暮れには大使として日本に赴任して初めて北海道を訪れ、浦本北海道副知事と秋元札幌市長にお会いすることができ、北海道の酪農を学ぶ機会に恵まれました。北海道は従来のビジネスモデルを変える新しい技術を取り入れ、スウェーデンと日本、共通する課題に挑戦している素晴らしい地域です。

日本とスウェーデン、両国の社会がお互いに関心を寄せている今、より両国の交流が密に、盛んになっていくことを切に願っています。私はこれまでにも多くの日本の人々と出会い、その人生観、思想、文化に触れることができたことを嬉しく思っています。2022 年には、我々スウェーデン大使館は文化イベントやプロモーションイベントを計画しており、より活発に日本とスウェーデンの窓口としての役割を果たして参りたいと思っています。両国の「絆」を深めるために手を取り合って参りましょう。私たちの交流は、経済、科学でも、文化の面でも両国を豊かなものにしてくれると確信しています。

2022 年が皆さんにとって幸多い一年でありますように…。

ペールエリック・ヘーグベリ

Copyrights 2022 スウェーデン大使館 Embassy of Sweden

謹　賀　新　年

旧年中は当財団の事業運営に格別のご支援を賜り、心より御礼申しあげます。

本年も旧年に変わりませず、一層のご厚誼、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2022年1月1日

一般財団法人スウェーデン交流センター
理事長　内野　貢
専務理事　南出耕一

一般財団法人
スウェーデン交流センター　役員

【顧　問】　ペールエリック・ヘーグベリ
鈴木直道　秋元克広　後藤正洋

【評議員】　居林次雄　川崎一彦　堀　達也
樋口達夫　山田　明　齋藤英男
安田光春

【理事長】　内野　貢

【専務理事】　南出耕一

【理　事】　杉本　拓　浅香正博　竹花賢一
高野瑞洋

【監　事】　阿部勝義

スウェーデン大使館

大使　ペールエリック・ヘーグベリ

公使参事官　レーナ・フォン・シドー　商務参事官　カシュテン・グロンブラード
科学・イノベーション参事官　マイケル・ジェイコブ　駐在武官　ペーテル・ファグレル
文化、スウェーデンプロモーション、パブリック・ディプロマシー　オフィサー　アダム・ベイエ

謹賀新年

旭川スウェーデン協会
会長
東郷明子
〒〇七〇－〇〇三〇
旭川市宮下通四丁目一番十一号七〇五
電話(〇一六六)二五－〇〇二〇

北海道スウェーデン協会
会長
加藤誠
〒〇六二－〇九一一
札幌市豊平区旭町三－一－七
北海道東リビル3F
電話(〇一一)八三七－八四一一

当別・レクサンド都市交流協会
会長
山田明
〒〇六一－〇二二六
石狩郡当別町錦町一二四八番地
電話(〇一三三)二三－二四四七
FAX(〇一三三)二三－二五七〇

北欧の風を感じるまち
当別町
〒〇六一－〇二九二
石狩郡当別町白樺町五八番地九

公益社団法人
北海道国際交流・協力総合センター
(HIECC／ハイエック)
会長
辻泰弘
〒〇六〇－〇〇〇三
札幌市中央区北三条西七丁目
(道庁別館十二階)

株式会社トーウン
代表取締役
古坐登志雄
〒三三〇－八五四一
埼玉県さいたま市大宮区
土手町一丁目四九番八号
GM大宮ビル八階
電話(〇四八)六四七－三三八一

北ガスジェネックス株式会社
代表取締役社長
梅村卓司
〒〇〇七－八七三三
札幌市東区伏古八条二丁目
七番地一
電話(〇一一)七八二－五七九一

株式会社スウェーデンハウス
代表取締役社長
村井秀壽
〒一五四－〇〇〇四
東京都世田谷区太子堂四－一－一
キャロットタワー二三階
電話(〇三)五四三〇－七六二〇

当別町商工会
会長
高橋昌二
〒〇六一－〇二二六
石狩郡当別町錦町一二四八番地
電話(〇一三三)二三－二四四七
FAX(〇一三三)二三－二五七〇

株式会社トーモク
代表取締役社長
中橋光男
〒一〇〇－〇〇〇五
東京都千代田区丸の内二－二－二
丸の内三井ビル
電話(〇三)三二一三－六八一一

大一コンテナー株式会社
代表取締役
岡本良夫
〒四二七－〇一〇三
静岡県島田市中河一〇〇一
電話(〇五四七)三八－一一三五

西條産業株式会社
代表取締役
西條文雪
〒〇四七－〇〇〇六
小樽市有幌町二番一六号
電話(〇一三四)二五－五〇一一

北洋設備株式会社
代表取締役
上田邦也
〒〇六〇－〇〇三三
札幌市中央区北三条東三丁目一－二五
電話(〇一一)二四一－五四八六

新空調エンジニアリング株式会社
代表取締役
山本徹
〒〇〇二－〇八五四
札幌市北区屯田四条三丁目
五番二〇号
電話(〇一一)七七三－九〇八〇

株式会社ベルディ
代表取締役
関本七重
(本社)
〒〇〇一－〇九二三
札幌市北区新川三条六丁目一番二十四号
電話(〇一一)八〇四－七七七八
(関東支店)埼玉県加須市久下二丁目六－十三

株式会社ホクヨー
代表取締役社長
内野貢
〒一〇一－〇〇四七
東京都千代田区
内神田二丁目一五番一一号
翔和神田ビル四階
電話(〇三)五二九八－五六三一

株式会社プライムトラス
代表取締役社長
村井秀壽
〒一三五－〇〇四一
東京都江東区木場二丁目一五番一二号
MAビル二階
電話(〇三)三六四三－三三一〇(代)

株式会社オールシーズン
代表取締役
小原繁
〒一六〇－〇〇〇四
東京都新宿区四谷三－一
第4須賀ビル五階
電話(〇三)三三五五－四七八九

伊藤組土建株式会社
代表取締役社長
玉木勝美
〒〇六〇－八五五四
札幌市中央区北四条西四丁目一番地
電話(〇一一)二六一－六一一一

森川綜合紙器株式会社
代表取締役
森川唯志
〒〇七九－八四一一
旭川市永山一条一二丁目一－二一
電話(〇一六六)四八－四一九一

株式会社ワコー
代表取締役
井上光男
〒〇四七－〇二六一
小樽市銭函三丁目五一一番地七
電話(〇一三四)六二－三五一五(代)

社会保険労務士法人 札幌労務管理
代表社員
山内朝友
〒〇六〇－〇〇〇六
札幌市中央区北六条西二十丁目二番八号
電話(〇一一)六一五－五五六五

株式会社ダンネツ
代表取締役会長
太田吉四郎
〒〇七〇－八〇四五
旭川市忠和五条四丁目九－一七
電話(〇一六六)六一－九一五一

大栄建工株式会社
代表取締役
山田豊
〒〇六一－〇二二六
石狩郡当別町錦町三五一番地
電話(〇一三三)二三－二〇三二

株式会社スウェーデンハウスリフォーム
代表取締役社長
小島敏之
〒二一一－〇〇六三
神奈川県川崎市中原区小杉町一－四〇三
武蔵小杉STMビル七階
電話(〇四四)七一一－四一五八

謹賀新年

森永エンジニアリング株式会社
代表取締役
中村雅人
〒一〇八―〇〇七五
東京都港区港南三―八―一
森永乳業港南ビル
電話(〇三)五七九六―九八〇〇

株式会社　ホリカワ
代表取締役会長
堀川昭雄
〒〇四九―〇一〇一
北海道北斗市追分三丁目三番一〇号
電話(〇一三八)四八―〇六七八
FAX(〇一三八)四八―八五八三

株式会社北洋交易
代表取締役社長
小島敏之
〒二一一―〇〇六三
神奈川県川崎市中原区小杉町一―四〇三
武蔵小杉STMビル七階
電話(〇四四)七一一―四四八〇

株式会社　サン・クリーク
代表取締役
小川正志
〒〇〇一―〇〇二九
札幌市北区北二九条西一二丁目
一―三
電話(〇一一)七五八―六八一〇

辻野建設工業株式会社
代表取締役
辻野浩
〒〇六一―〇二二四
石狩郡当別町末広三八〇番地
電話(〇一三三)二三―二四〇八

ヤクシン開発株式会社
代表取締役
安川隆
〒八〇七―一二六二
福岡県北九州市八幡西区大字野面
一六八番一
電話(〇九三)六一八―六六二七

小西工業株式会社
代表取締役社長
堰代稔大
〒〇九〇―〇〇二五
北見市北五条東三丁目二番地
電話(〇一五七)二三―六二七八

メークス株式会社
代表取締役
森山雅明
〒三〇二―〇一一九
茨城県守谷市御所ヶ丘二―一〇―二
電話(〇二九七)五五―一六一一

株式会社　ワーク・サービス
代表取締役社長
武田卓也
〒三三九―〇〇〇一
埼玉県さいたま市岩槻区
鹿室七五七番地二

株式会社　長嶺設備工業
代表取締役
中畑譲司
〒〇五六―〇〇〇四
北海道日高郡新ひだか町静内緑町
一丁目二番一号
電話(〇一四六)四二―一六六三

株式会社　中川
代表取締役
中川清孝
〒〇七八―八二一四
旭川市四条通一九丁目右一号
電話(〇一六〇)三一―三八一一

株式会社　古賀住設
代表取締役
古賀恭治
〒八三九―〇八〇九
福岡県久留米市東合川五丁目
六番一九号
電話(〇九四二)四四―八八八〇

株式会社　椎谷建設
代表取締役
椎谷敏行
〒二五三―〇一一三
神奈川県高座郡寒川町大曲一―五―三
電話(〇四六七)七四―六〇一三

トーウントラフィック株式会社
代表取締役
社長執行役員
酒井美徳
〒三四七―〇一一一
埼玉県加須市鴻茎一二一九
電話(〇四八〇)五三―八一三一代
FAX(〇四八〇)五三―八一三二代

株式会社　十勝パッケージ
代表取締役社長
井上光男
〒〇八〇―一二五三
北海道河東郡士幌町
字士幌西二線一四五番地一
電話(〇一五六四)五―二〇一六

株式会社トーシンパッケージ
代表取締役社長
新井孝
〒三四九―一一四七
埼玉県加須市北大桑五一六番一
電話(〇四八〇)三一―七二六〇

アートルーフ工業株式会社
代表取締役
糀田直樹
〒〇〇七―〇八六八
札幌市東区伏古八条一丁目
四番六号

有限会社　たきお水道
代表取締役
鶴田敬
〒八七〇―〇九四五
大分県大分市大字津守一三五番地の一
電話(〇九七)五六九―一八八七

中西印刷株式会社
代表取締役
林下英二
〒〇〇七―〇八二三
札幌市東区東雁来三条一丁目一―三四
電話(〇一一)七八一―七五〇一

北新マテリアル株式会社
代表取締役社長
小西誠二
〒〇〇七―〇八三七
札幌市東区北三七条東二七丁目
三―一
電話(〇一一)七八六―八五八一

株式会社　昭和工務店
代表取締役社長
北嶋英明
〒五三四―〇〇二七
大阪市都島区中野町五丁目七番八号
電話(〇六)六九二一八―八八二一

株式会社　飯田工務店
代表取締役
工藤栄三
〒〇六四―〇九一九
札幌市中央区南一九条西六丁目一番一号
電話(〇一一)五三〇―〇九一〇

美樹工業株式会社
代表取締役
岡田尚一郎
〒六七〇―〇九六五
兵庫県姫路市東延末二丁目五〇
電話(〇七九)二八一―五一五一
FAX(〇七九)二八一―六六一〇

北海運輸株式会社
代表取締役社長
福沢優
〒〇六〇―〇〇〇三
札幌市中央区北三条西四丁目一―一
日本生命ビル十六階
電話(〇一一)二四一―五二八一
FAX(〇一一)二二一―五〇九九

越智建設株式会社
代表取締役社長
木村悟
〒〇五三―〇〇五二
苫小牧市新開町二丁目一一―四
電話(〇一四四)五五―六六七五

謹賀新年

国際ロータリー第二五一〇地区第三G
当別ロータリークラブ
会長
六角英一
〒〇六一－〇二一三
当別町弥生一〇九一　田西会館内
電話(〇一三三)二一－〇五七五

スウェーデンヒルズゴルフ倶楽部
理事長
齋藤英男
〒〇六一－三七七七
北海道石狩郡当別町スウェーデンヒルズ
一七八八－一八
電話(〇一三三)二六－二三二一
FAX(〇一三三)二六－二九七四

日本東海インダストリアル
ペーパーサプライ株式会社
代表取締役社長
武藤悟
〒一〇一－〇〇六二
東京都千代田区神田駿河台四－六
御茶ノ水ソラシティ九階
電話(〇三)六六六五－五〇一六

馬場電気工業株式会社
代表取締役
馬場英幸
〒三五二－〇〇三五
埼玉県新座市栗原三丁目七番二十九号
電話(〇四二)四二一－〇二五四

有限会社　蜂谷建設
代表取締役
蜂谷孝司
〒〇八〇－〇〇二五
帯広市西十五条南五丁目四番地十二
電話(〇一五五)三五－六四四三

株式会社　スガノ建設
代表取締役
菅原治道
〒〇二一－〇九〇一
岩手県一関市萩荘字袋田一三六番地一
電話(〇一九一)二四－四四五九

株式会社　小林住工
代表取締役
小林正人
〒〇六一－一二六四
北広島市輪厚七十番地二
電話(〇一一)三七七－六三六六
FAX(〇一一)三七七－六三八九

富士ホームエナジー株式会社
代表取締役社長
神林章二
〒〇六〇－〇〇〇九
札幌市中央区北九条西十八丁目二－六
電話(〇一一)六三一－一一三一

株式会社札幌トーウン
代表取締役
社長執行役員
山根学
〒〇六一－三二四二
石狩市新港中央二丁目七五五番地五
電話(〇一三三)六四－五五〇七

株式会社　石川建設
代表取締役
石川克巳
〒七三一－五一五二
広島市佐伯区五日市町
大字下河内三二七番地の五
電話(〇八二)九二七－一四〇七
FAX(〇八二)九二七－一四一七

株式会社　根建
代表取締役
根建修
〒二三二－〇〇二四
横浜市南区浦舟町五－七七
電話(〇四五)二五三－七一六六

株式会社北海道ニッタンサービスセンター
代表取締役
岩本悟
〒〇六〇－〇〇四一
札幌市中央区大通東六丁目
十二番地七
電話(〇一一)二四一－六〇〇一

有限会社　浅井電気工業社
代表取締役
浅井時宣
〒二二五－〇〇一一
神奈川県横浜市青葉区あざみ野
二－二八－五
電話(〇四五)九〇二－五〇三一㈹

「スウェーデンの音楽」と言えば、多くの方が ABBA や、彼らの曲を挙げることでしょう。ではクラシック音楽の世界はどうでしょうか？スウェーデンのクラシック音楽でご存知の作曲家はいらっしゃいますか？

長い歴史をもつクラシック音楽の分野でも、スウェーデンは数多くの作曲家を輩出し、音楽史にその名を刻んできました。今回はそんなスウェーデンのクラシック音楽とその魅力について、北欧音楽研究家の朝倉　崇さんにご寄稿いただきました。

寄稿

ぜひとも聴いて欲しい！今が旬のスウェーデンクラシック音楽（前編）

北欧音楽研究家
朝倉　崇

はじめに

みなさんはスウェーデンのクラシック作曲家の作品を聴く機会はあるでしょうか？

日本国内でのクラシックコンサートでは、なかなかそのようなチャンスはないのではないでしょうか。コンサートのプログラムも大抵ドイツものやフランスもの、ロシアものが多く、時々東欧やアメリカもの、北欧ものがあるくらいです。しかも北欧ものでも、フィンランド作曲家シベリウスやノルウェーの作曲家グリーグ、デンマークの作曲家ニールセン（この辺でも相当まれですが…）が大半で、スウェーデンの作曲家って誰？？っていう状況が日本の現状だと思います。この会報誌を読まれている皆様はスウェーデンに興味がある方ばかりだと思うので、スウェーデンのクラシック音楽に接するチャンスをお持ちの方は多少は増えるかなとは思いますが、大勢いらっしゃるとまではいかないのではないかと推察します。そういう意味でマイナーかもしれませんが、スウェーデンのクラシック音楽はあまりよく知られていないだけで、実はとても魅力的な作曲家や作品が宝の山のようにあります（と私は思っています）。そして、その宝の山の一角を掘り始めるには、実は今がとても良い時期になってきました。実際にスウェーデンのクラシック音楽（クラシックに限りませんが…）を聴く手段としては、ＣＤを入手する、もしくはネット上で聴けるものを聴くくらいになってしまいます。生で聴けるラッキーチャンスはあれば最高ですが、日本国内では相当レアです。ＣＤに関してはお目当てのものを大手のＣＤショップで取り寄せてもらえるか怪しいので、私は広島にあるノルディックサウンド広島さんという、知る人ぞ知る北欧音楽に関して超マニアックな男性がお二人で経営されているお店に相談します。北欧音楽のＣＤに関しては、日本で一番詳しいお店なのでお問い合わせされてみるのも良いでしょう。コロナ禍の影響で、オンラインのコンサートが増え、スウェーデン国内やヨーロッパのオーケストラがネット上で、本番やリハーサル風景、インタビューなど多彩な発信をするようになりました。YouTube や Spotify などでも視聴できるものがどんどん増えて来ました。アップされているスウェーデン音楽のコンサート映像や音源等々豊富で、うまく検索できれば、あまり苦労せずに素敵なコンテンツと出会える状況になりました。オンライン上では世界はとても近くなり、その気にさえなればスウェーデンでもすぐにアクセスできてしまいます。凄い世の中になりました。テクノロジーの進化によるチャンスの増大がまず一点です。

そんな大好きな音楽をみなさんにもっと知っていただきたいと思い、今回は全２回に亘って数人の作曲家のオーケストラ作品を中心に、スウェーデンのクラシック音楽に普段馴染みの無い方でも楽しんでもらえそうな作品をざっくばらんに紹介していきたいと思います。私自身オーケストラ音楽をメインに活動しているので、選曲が多少偏ってしまっていること、また、自分自身の実体験や解釈等を交えてご紹介させていただきますので、かなり自由奔放な文章となっておりますが、寛大にお受けとめくださいますと幸いです。

ヴィルヘルム・ステーンハンマル

ヴィルヘルム・ステーンハンマルは 1871 年にストックホルムで生まれ、1892 年にピアニストとしてデビューし、ベルリンにピアノ留学をしました。スウェーデンの作曲家トール・アウリンとのデュオやアウリン四重奏団との活動と、コンサートピアニストとしての活動に情熱を注ぎ、1897 年初めて指揮者としてデビューしました。1900 年以降は指揮者としての活動が中心となり、ストックホルム王立歌劇場の楽長に就任。1906 年頃から約 15 年もの

間、ヨーテボリ交響楽団の首席指揮者として活躍し、その後 1923 年から 25 年には再びストックホルム王立歌劇場の楽長に復帰。２年後の 1927 年に没し、56 年の短い生涯を閉じるまでの間、スカンジナビア音楽の普及に貢献し、多くの音楽家とも親交を深め、ヨーテボリ大学から名誉博士号の称号を与えられたりもしています。

ステーンハンマルの作品について

ステーンハンマルはピアニスト、指揮者として活躍したことから、オーケストラ作品から室内楽曲やピアノ曲まで幅広いジャンルを手がけました。ただ 56 年の生涯という短命であったことと、指揮者や四重奏などの活動が多忙で、作曲活動に割ける時間が限られていたので、作品数は少なめな印象がありますが、１曲１曲の充実度は非常に高く、それゆえに国際的にも、国内的にも評価されているのは当然な結果と言えるでしょう。

ステーンハンマルの作風は当初はドイツへ留学したことから、ベートーベンやブラームス、ワグナーといったドイツの有名な作曲家の影響を多分に受け、ドイツ的要素の強い作風が強かったのですが、1910 年頃を境に、友人のニールセンやシベリウスの影響で北欧的なものへと作風を変えていきました。ドイツ的な作風の時代と北欧的な作風の時代の作品を聞き比べてみるのはステーンハンマルの音楽に理解を深め楽しむのには大変良いと思います。では早速、ステーンハンマルの親しみやすい楽曲をいくつか紹介しましょう。

狂詩曲「冬至祭」作品 24

（1907 年作曲、1908 年初演）

ステーンハンマルは、作品の中にスウェーデンの伝統音楽のメロディーをそのまま使うことはほぼなかったのですが、この曲ではほぼそのまま取り入れています。狂詩曲「冬至祭」は特にステーンハンマルの代表作ではないのですが、あえて最初に紹介したかったのは、スウェーデンのダンス曲を使っていて聞きやすいということと、一説によると次回紹介する予定のヒューゴ・アルヴェーンの代表作「真夏の徹夜祭（夏至祭）」を意識して書いたと言われていることで、２人の作曲家の対比という意味でも面白いかなと思ったからです。

アルヴェーンは夏至祭の様子を作品の中で描いたのですが、ステーンハンマルは本当は夏至祭の雰囲気なのに敢えて冬至祭と言う名前をつけ（例えばルチア祭のノリとは違うのではないかということ）、楽曲の展開も、スウェーデンの村でフィドルで弾く旋律を最初に提示したのち、かなり高度な作曲技巧を駆使して最終的にはその旋律を大きな旋律の渦の中に取り込んでしまうようなダイナミックな作りになっており（作曲技巧の凄さを見せつけたかったのでは…）、しかも合唱が後半に入ってくるという大仕掛けになっています（この点はちょっとルチア祭っぽくもある）。そんな壮大なドラマが描かれている感じがするあたりが、アルヴェーンに対するライバル心の表れのようにも思える。アルヴェーンの夏至祭とぜひ聞き比べてみるととても面白いのではないかと思います。もしもステーンハンマルが他にもスウェーデンの旋律を取り入れて作品を書いていたら、どのような作品を作っただろうかと妄想が膨らみそうです。

カンタータ「スネフリード」作品５

（1891 年作曲）

合唱の話が出たので、次は初期のカンタータを紹介したいと思います。スネフリードはスウェーデンの詩人ヴィクトル・リュドベリの詩に基づいており、森の奥に住む美しい雪女が、村に住む青年をそそのかして、激しい嵐の中、湖に船を出させて命を絶たせるという（割とヨーロッパではありがちなストーリーなのですが）ストーリーをもつ、20 分強くらいと鑑賞するにもお手頃な楽曲です。

ステーンハンマルがワグナーの音楽の信奉者だったころに、楽劇「ワルキューレ」に特に惹かれていたようで、この曲の中にもワグナーの楽劇を思い起こさせる雰囲気があちこちで漂っています。ステーンハンマルの作曲した合唱曲は、非常に美しく繊細なものが多いのですが、初期の作品にもかかわらず、そのできばえには貫禄すら感じてしまいます。ちなみに後に作曲したカンタータ「ひとつの国民」作品 22（1905 年）の第２曲の「スヴェリエ」はスウェーデンの第２の国歌として愛されています。ちょうどシベリウスのフィンランディア讃歌がフィンランドの第２の国歌と言われていますが、そのシベリウスがフィンランドを代表する大作曲家と評価されるのと同様に、ステーンハンマルはスウェーデンを代表する大作曲家である証ともいえるでしょう。またカンタータ「歌」作品 44（1921 年）という壮大な作品がありますが、この中の間奏曲だけ取り出して演奏されることが多く、超オススメの曲です。

交響曲第１番ヘ長調

（1902 年～ 1903 年作曲、
1903 年初演、その後撤回）

この交響曲は作品番号が付いていません。実はステーンハンマルが封印してしまった曲なのです。同じ時期にシベリウスが交響曲第２番を発表し、ステーンハンマルはその作品の素晴らしさに驚き、自らの第１交響曲の初演はしたものの、その後自らその演奏を禁止して封印してしまったそうです。しかし、この魅力的な第１交響曲の評判は後世にまで残り、彼の死後かなりの年月を経て、ヨーテボリ交響楽団の指揮者になったヴァーツラフ・ターリヒによって取り上げられました。ドイツ音楽の影響をたっぷり受けていた頃のステーンハンマルのこの交響曲が、再び日の目を浴びたのはとてもありがたいことである。のどかな牧歌調の曲で、６本のホルン（通常４本が多い）が大活躍している。４楽章からなる 55 分以上におよぶ大曲ですので、少々ステーンハンマルの音楽に馴染んでから聞いた方が良いかもしれませんが、随所にブラームスやドボルザーク、エルガー、ブルックナーあたりを感じさせる部分があり、どの部分を取ってみても親しみやすい楽曲なのでオススメです。

交響曲第２番ト短調 作品34

（1911 年～ 1915 年作曲、1915 年初演）

この曲はステーンハンマルの代表作といえるのではないでしょうか。前作の交響曲第１番を撤回したので、番号なしの交響曲として発表されました。作曲に４年をかけた大作は満を持して、ステーンハンマル自身の指揮でヨーテボリ交響楽団の演奏で初演されました。この初演はちょうど、ヨーテボリ交響楽協会創立１０周年の記念音楽祭の中で行われ、この曲はステーンハンマルが大好きなヨーテボリ交響楽団に献呈されました。この交響曲はステーンハンマルが作風を大転換させて北欧色を出し始めた後の作品なので、先の交響曲第１番の作曲者とは全く別人ではないかと思うほどの変わりようを感じる方もいらっしゃるかも知れません。

その作風は、シベリウスやニールセンの影響も受けつつ、ステーンハンマル自身の音楽がしっかり紡がれています。出だしの引き締まった旋律、それを対位法（フーガ等の手法）を駆使して大きく構築された見事な作品で、演奏時間は４つの楽章を合わせて 45 分くらいになります。演奏機会はまだまだ少ないものの、日本でもプロやアマチュアオーケストラでしばしば取り上げられています。

この交響曲の完成度がとても高いため、第１交響曲の方が見劣りしてしまうかもしれませんが、２曲の交響曲を比較して聴いてみるとステーンハンマルの作曲の変遷がよく分かり、非常に面白いものとなっています。個人的には、最終的に周到かつ自信を持って書き上げられた第２番に軍配が上がりますが、個性の違う２つの大作を大切にしたい気持ちになります。ちなみに、その後第３交響曲も構想していたようなのですが、現在は断片的なスケッチが残っている程度のようです。

セレナード 作品31

（初版 1908 年～ 1913 年作曲、1914 年初演、
改訂版 1919 年改訂、1920 年初演）

1910 年ごろに北欧的な作風への大転換を果たして以降の彼の特筆すべき傑作は、第２交響曲と、このセレナードでしょう。当初は６楽章構成から成り立っていましたが、改訂によって第２楽章を削除し、全部で５楽章構成になっています。北欧の他の作曲家からも聞こえてくる北欧作曲家が好きなオーケストレーションやフレージング、響き、書法が散見されて、北欧風への大転換が大成功していると感じられる見事な作品となっています。

第１楽章の序曲では北欧の大自然の音が聞こえてくるように始まり、かなり複雑に音楽的素材を構成しつつ、かつ勢いよく纏められていてすがすがしい気分になります。全体の中で時々現われるヴァイオリンソロのサウンドが神秘的ですらあります。

第２楽章カンツォネッタは、どこかシベリウスの悲しいワルツを連想させる出だしから始まりますが、フレーズが流れ出すとステーンハンマルの美しいメロディーに魅了されます。出だしのように各所でシベリウス風のパッセージやサウンドが聞こえてくるのはそれはそれで面白いものでありましょう。

第３楽章スケルツォは、８分の６拍子の軽やかかつ楽器同士の掛け合いの多い曲で、演奏にはかなりの集中力が必要となりますが、聴く分にはとても楽しい楽曲となっています。中間部のホルンが大活躍する前半部、弦とクラリネットで落ち着いた祈りのような旋律を奏でる後半部、再びスケルツォ主題が戻ってくる再現部とめまぐるしく情景が移り変わるドラマが面白い曲となっています。

第４楽章ノットゥルノ（夜曲）は、弦楽器が奏でるメロディーラインに木管やホルンが絡み合い、夜の空気の静寂と、どこか懐かしい祈りのようなハーモニーが聞こえてくる美しすぎる音楽が紡がれていきます。

そして第５楽章フィナーレは、前の楽章の夜の音楽とは打って変わって朝を迎えたような快活な音楽で、３連符のリズムが支配的なのも印象的です。後半は各パートの点描のような絡み合いが、演奏難度の高さを想い起こさせます。ちなみに、このセレナードのスコアを見たときに、スウェーデンのもっと後の時代の作曲家で指揮者であるラーシュ＝エリック・ラーションが作曲した田園組曲のスコアの印象とよく似てるところがあると感じたのですが、ステーンハンマルの残したものが後世に受け継がれているを思うと、得も言えず感慨深いものがあります。ラーションについては記事の最後にでも少しこの作曲家についても紹介させて貰おうと思います。なお現在 YouTube 上でスウェーデンを代表する巨匠指揮者ヘルベルト・ブロムシュテットがヨーテボリ交響楽団を指揮してこのセレナードを演奏している動画が見ることができるので、是非ご覧いただけたらと思います。感動ものです。

ピアノ協奏曲第２番ニ短調 作品23

（1904 年～ 1907 年作曲、1908 年初演）

ピアニストであったステーンハンマルは２曲のピアノ協奏曲を残しました。第１番のピアノ協奏曲はブラームスのピアノ協奏曲のような交響曲的な要素の強いものでしたが、第２番はピアノ独奏で弾いてる部分が多く、よりピアノが目立つ構成になっています。

第１楽章はソロをゆったり深く聞かせる部分が多く、オーケストラと絡む部分では力強く攻めた感じでメリハリのきいた音楽になっています。第２楽章がスケルツォで、高速回転の綱渡り的音楽で、演奏にはとても高い集中力を要しそうな技巧的な音楽で、聞いていてとても面白く、落ち着いた中間部との対比もまた素晴らしいものとなっています。第３楽章はゆったりと３連符を奏でるピアノと付点の動きが印象的なオーケストラとの濃厚な音楽。続く第４楽章は８分の９拍子でピアノとオーケストラが一体となった感じの音楽で、一瞬ワグナーのワルキューレの騎行を想い起こさせる感じがしますが、だんだんサンサーンスみたいな近代フランス音楽のようにも聞こえてきて、ステーンハンマルがヨーロッパ大陸で吸収したものをふんだんに取り込んで書かれているようで、実に面白く、スコアはかなり細やかな印象です。華やかかつ煌びやかな雰囲気の音楽は勢いを上げて締めくくら

れます。

ブラームスの影響がピアノ協奏曲第１番では特に強く感じられますが、第２番でも本質的な部分はブラームスのピアノ協奏曲がベースにあるようで、ドイツ的な熱さも十分感じられます。交響曲第２番と、このピアノ協奏曲第２番は日本でも演奏されることのある楽曲ですので、やはり実演を聴くことをオススメしたいですね。

チトラ組曲 作品43

（1921年作曲、同年初演）

タゴールの戯曲の付帯音楽として書かれた作品で、弦楽合奏（一部楽曲でチェレスタも使用）で演奏される楽曲です。

とてもマイナーな作品ではありますが、ここで取り上げたのは、実は現在この曲をリハーサルで取り組んでいるところでして、組曲から大部分の曲を抜粋して今年2022年６月に実際に演奏する予定でいます。本当はステーンハンマル記念イヤーに先駆けて 2020 年 11 月にお披露目予定だったのですが、新型コロナウイルスの影響で記念イヤーをまたいでしまうことになりました。付帯音楽なので多少冗長な部分が否めないけれども、ステーンハンマルらしい響きの美しさが魅力的な作品なので、ご興味ある方はご一報いただければ、演奏会の情報をご案内いたします。

ピアノのための３つの小品

（1895年作曲）

この曲は昨年 2021 年 11 月に、金沢でのスウェーデン音楽のコンサートで、ピアニストの江端玲子さんに演奏していただきました。ステーンハンマルの記念イヤーで実演できた唯一のステーンハンマル作品になってしまったのですが、この曲は３つの小曲とも美しく親しみやすい曲なので、ピアノを演奏される方はぜひレパートリーにされると良いのではないでしょうか。ちなみに３曲目はスウェーデンの伝統舞曲ポルスカのリズムが使われていて、実にスウェーデンらしい作品です。

（次号に続く）

ご寄稿者紹介… 朝倉 崇（あさくら たかし）さん

北欧音楽研究を主軸に、その魅力を伝える活動をライフワークとする。指揮活動やレクチャーコンサート等を積極的に行う。スウェーデンを中心に北欧諸国を訪れ、音楽や文化、風土について度々取材したことで、日本での北欧音楽の啓蒙には、クラシック音楽と伝統音楽を両輪に進める必要性があると考えるに到る。これまでスウェーデンのダーラナシンフォニエッタとのレクチャーコンサート講師、風と緑の楽都音楽祭でのノルウェーの民族楽器の魅力を伝える企画のプロデュース及び講師をはじめ、日本各地でクラシックや伝統音楽の演奏家と協働して北欧音楽の啓蒙活動を行ってきている。金沢市在住。

北欧料理 リラ・ダーラナ
Lilla Dalarna
sedan 1979

北欧諸国の大使館や企業も御用達のレストラン、北欧料理リラ・ダーラナの「おうちで北欧パーティーセット」のご紹介

東京の港区六本木にある「リラ・ダーラナ」は、スウェーデンを始め北欧諸国の大使館や企業も御用達の本格的な北欧料理のレストランです。そんなリラ・ダーラナの味がお家で楽しめるパーティセット「おうちで北欧パーティセット」をオンラインで注文できるようになりました。北欧料理ってどんな料理？という初めての方も、北欧料理を食べてみたいけど、東京まではなかなか行けない…という方も、ぜひ一度お試しください！

「おうちで北欧パーティーセット」 セット内容

①ニシンのマリネ３種
②ノルウェーサーモンのスモーク
③リンゴンベリー、キュウリのピクルス
④小さな可愛いミートボール
⑤季節の煮込み
⑥ヤンソンさんの誘惑（ポテトとアンチョビのグラタン）
⑦自家製パン
⑧スウェーデンのテーブルコーディネートブランド
Duni のテーブルクロス 84cm×84cm 一枚
※①～⑦は冷凍状態で届きます。
（賞味期限は到着後未開封１週間です）

価格（税込。送料別途）
２人用：6,480円　３～４人用：10,800円

リラ・ダーラナ ホームページ
http://dalarna.jp/

特別企画　スウェーデン交流センター広報誌「ビョルク」150 号記念企画

Björk これまでのあゆみ ④

この広報誌「ビョルク」は、これまで多くの方のご協力のもとに作られ、SCF の活動を紹介するだけでなく、スウェーデンの文化や経済を紹介してまいりました。

第 150 号発行に際し、150 号から数回に分けて第 1 号からこれまでのビョルクの表紙をご紹介したいと思います。SCF を設立時からご存知の方も、新たにこの広報誌をご覧になった方も、当時の様子に想いを馳せていただけたらと思います。第 4 回目の今回は、第 81 号から第 97 号までをご紹介します。

第 81 号

2004 年 1 月 1 日発行

第 82 号

2004 年 4 月 1 日発行

第 83 号

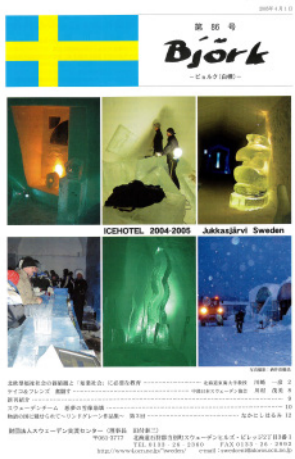
2004 年 8 月 1 日発行

第 84/85 号

2005 年 1 月 1 日発行

第 86 号

2005 年 4 月 1 日発行



第 87 号

2005 年 7 月 10 日発行

第 88 号

2005 年 10 月 1 日発行

第 89 号

2006 年 1 月 1 日発行

第 82 号でも特集されているように、2004 年に行われた札幌雪まつりの国際雪像コンクールでは、22 回目の挑戦で悲願の初優勝を成し遂げました。最近はスウェーデンのチームは出場していないのですが、ぜひまた雪まつりの会場で立派な雪像を見てみたいですね。

第90号
2006年4月10日発行

第91号
2006年7月15日発行

第92号
2006年10月1日発行

第93号
2007年1月1日発行

第94号
2007年4月10日発行

第95号
2007年7月20日発行

第96号
2007年10月1日発行

第97号
2008年1月1日発行

2007年には、1987年から始まった当別町とレクサンド市の姉妹都市提携20周年を記念するイベントや、スウェーデン大使館主催による日本に進出しているスウェーデン企業のプロモーションイベントが行われるなど、文化・経済面での交流が積極的におこなわれました。

謹賀新年

創業110周年へ
“ものづくりとひとのおもい”

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
本年もより一層尽力してまいりますので、昨年同様の
ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2022年 元旦

NAKANISHI PRINTING CO.,LTD.
Since 1912
中西印刷株式会社
代表取締役　林下 英二

連載寄稿

Nu i Sverige（ヌ イ スヴェーリエ）

スウェーデンの「現在（いま）」

寄稿：ソフィア・マルム

シリーズ第17回

スウェーデンのスーパー水曜日、首相指名選挙

～ Statsministeromröstningen ～

（“首相指名選挙”の意）

最近のスウェーデンで最も話題になっていることはと言われたら、政治がまず一番に挙げられますかね。11月下旬のニュースは日本でも報道されたようですが、みなさん見ましたか？11月の首相選挙が行われた数日間は、それはもうテレビドラマのようなものだと私は思いました。

11月24日（水）に、スウェーデンの初女性首相が選出されました。ただし正式に就任とはならなかった。同じ日、数時間後に辞任してしまったから（“選出”ということに対しての辞任で、就任したわけではないという）。

私としても「スウェーデンどうなっているのか？」という感じでした。

・・・

ところが今回の件、スウェーデン語がわかる、ずっとスウェーデンに住んでいる多くの人も「あれ？！」といろいろびっくりしてしまう出来事だったのです。背景にはものすごくいろいろな事情がありますしね。

ということで、今回は巷を騒がせた首相指名選挙、その背景についてお話します。

基本情報：政権と政党、議長について

①与党（政権）

当時の政権は社会民主党（S:Socialdemokratiska）と緑の党（MP: MiljöParteiet）という二つの党による連立政権でした。日本も連立政権ですよね。

②野党（第一）

穏健党（M:Moderata）とキリスト教民主党（KD:Krist Demokraterna）、スウェーデン民主党（SD:SverigeDemokraterna）というこの3党は、11月24日に代替予算案を提出し、可決されています。

③野党（第二）

左翼党（V:Vänster）、中央党（C:Center）と自由党（L: Liberalerna）の3党。この3党は連立はないし、一緒に作った予算案もないです。

④議長 アンドレアス・ルーン Andreas Norlén

議長の仕事はというと、「議長が国家議会を主導するということは、議会の仕事をどのように計画し、実行するかについて最終的な責任を負うということである」と定められています。

これを書いているのは選挙が行われた11月下旬なので、皆さんが読んでいるであろう1月にはもしかしたら、まったく違う状態になっているかもしれません。政治危機になっているか、一体どうなのか、わかりません。今回も前回も、スウェーデンの政治はどうなるかわからないですからね。ですが11月下旬の時点では、

スウェーデン、初の女性首相が就任

…というニュースが報道されました。社会民主党のマグダレナ・アンデション党首（54）が11月30日、正式にスウェーデンの初女性首相として就任しました。

ここまでに至るものすごい経緯があったので、まとめていきます。

11月24日

スウェーデンで初の女性首相選出

・社会民主党のマグダレナ・アンデション党首（54）がスウェーデンで初の女性首相選出。
・正式にはまだ就任していません。

野党が提出した代替予算案が可決

・今回は議会では与党社会民主党（S）と緑の党（MP）が提案した予算案が否決される。野党の３党の穏健党、キリスト教民主党、スウェーデン民主党による予算が可決されます。

緑の党が社会民主党との連立政権を解消と表明

・「緑の党は、スウェーデン民主党が起草に携わった予算で統治したくない」と反発。

マグダレナ・アンデションが辞任

・スウェーデンの次期首相に選出されて７時間後、マグダレナ・アンデションが辞任。それについてのアンデション氏の発言がこちら。
「慣例的には、連立政権は一方の政党が離脱を選択した場合、辞任する必要があります。議会の状況は変わっていませんが、再検討する必要があります」
「私は、政府の正統性を疑問視されるような政府を率いる意思はない」

この日はいくつかのメディアで“Super Wednesday（スーパー水曜日）”と呼ばれているのを見ました。

11月25日

・11 月 25 日、スウェーデン国家議長は再び、マグダレナ・アンデションを首相に任命するようスウェーデン国家議会に提案した。

11月29日

・11 月 29 日、スウェーデン国家議会はマグダレナ・アンデションを首相に任命するという議長の提案を承認しました。正式に就任していません。

11月30日

・社会民主党のマグダレナ・アンデション党首が正式にスウェーデンで初の女性首相に就任します。

この７日間の政治の動きについて、SNS で気になる質問はいろいろ見ましたが、目についたものを一つ選ぶとすると、

349票のうち獲得できた賛成票が101票だった マグダレナ・アンデションが、なぜ首相になれたのか。

…という点。それについての答えは、スウェーデン国会議員の数は 349 人いるのですが、スウェーデン国会議員の半数以上、つまり 175 人以上が議長の新首相提案に反対票を投じた場合、その提案は採用されない。それ以外の場合は、承認されます。そのことを踏まえて行われた 29 日の首相指名選挙の結果は、

賛成 Ja: 101
反対 Nej: 173
棄権 Avstår: 75
欠席 Frånvarande: 0

（参照：https://www.riksdagen.se/sv/aktuellt/2021/nov/29/magdalena-andersson-godkandes-som-statsminister/）

…という結果になったからなんですね。
あとは、「あんなに男女平等を謳っているスウェーデンで初めての女性首相ってことが意外！」といったコメントも見ました。確かにスウェーデンといえば男女平等が進んでいるというイメージが強いですよね。

記事やブログ、インスタへのご意見 ご感想お待ちしています！

インスタグラム： instagram.com/wagasueden
ツイッター： twitter.com/wagasueden
ブログ：https://wagasueden.hatenablog.jp/

Author ソフィア・マルム

Sofia Malm

2010 年高校を卒業後、日本に留学。カイ日本語学校で学び、帰国後日本語能力試験１級を取得。
ダーラナ大→ウプサラ大→ストックホルム大を渡り歩き日本語／日本学を修了。途中 2015 年に京都大学に１年の留学を経て、2017 年６月ストックホルム大学日本学科を卒業。いわゆる大学移民。好きなものはおにぎり、赤飯そしてマグロ丼。
スウェーデンの生活についてインスタグラムとツイッターもやっていますので、スウェーデンに興味があったら、是非見てみてください＾＾

賛助会員入会のお願い

一般財団法人スウェーデン交流センターは、ガラス作品や木工作品の制作などを通して多方面での交流を行うとともに、夏至祭、ルシア祭、各種展覧会など、年間を通して様々な催しを行い、スウェーデン文化の紹介を積極的に行なっています。

特に「世界一臭いスウェーデンの発酵にしん」スールストロミングの試食会を毎年開催し、多くの皆様からご好評を頂いております。

これらの催しは、当センターの趣旨にご賛同くださる皆様が賛助会員としてその運営基盤をささえてくださっており、毎回の催し等は、広報誌「ビョルク」にも掲載し、賛助会員の皆様には、年4回ご自宅まで郵送、いち早く情報提供しています。ぜひ賛助会員にご入会下さいますよう、お願いいたします。

賛助個人会員　年会費　一口　5,000円
賛助法人会員　年会費　一口　20,000円

あとがき

●2019年末から始まった新型コロナウイルスのパンデミックは、昨年末には新たな変異株が世界各地に拡散するなど、今なお世界各地に影響を及ぼしています。そんな中にありながらも、日本とスウェーデン両国で文化や経済の交流を持続可能な形で続けていくための取り組みがなされてきました。ＳＣＦも引き続き、スウェーデンとの交流を深めていくための活動により一層力を入れて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

●2021年と2022年はスウェーデンを代表する二人のクラシック作曲家の生誕150周年という記念すべき年になります。今回のご寄稿をきっかけにスウェーデンのクラシック音楽への関心が高まっていってほしいですね。